

在韓仁川日本領事館

火

明治三十五年十一月十四日

第百二十五號

第一銀行券流通引換事關之

報告書提出件

第一銀行券、右當地に於て流通引換

事關之報告書を通過せしめ

申査閣相念度候致具

在仁川

領事加藤存中印



外務大臣野村善太郎殿

4 銀第百二十五號

外務

明治三十五年十一月十四日

三二五第

第一銀行券流通 引換券の発行

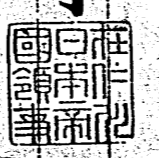
報告書提出の件

銀行券の流通地を拡大し流通の増進を図るに就て

の件

昭和五年十月七日

在仁川 領事加藤存太郎印



大正五年十月七日

理 銀券六一六一九七  
大正五年十月七日

外務省通商局  
大正五年十月七日  
大正五年十月七日  
大正五年十月七日



3-1197

0286

明治三十五年十一月十四日

三二五第

第一銀行券流通 引換券の用

報告書提出

銀行券の

関係の

関係の

明治三十五年十一月

在

大正三十五年十一月

理銀第六一六一號  
明治三十五年十一月

第七九二  
明治三十五年十一月

本信爲御参考供貴覽候間  
御用濟御返却相成度候也  
明治三十五年十一月二日

外務省通商局

外務省  
通商局

大正三十五年十一月

外務省

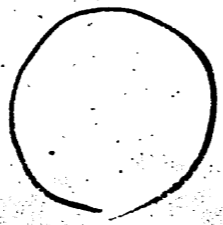
3-1197

0287

第一銀行券流通引換券景況 (十月一日以後)

一) 流通 在田券ハ日本銀行在田兌換券不足ノ折極小取引ニ最モ便利ヲ感スル所ニシテ一般ノ歡迎ナル所ナリ但シ其流通高著シキ増減アルハ釜山又木浦ニ対スル出入ノ為メ当地支店ニ於ケル表面上ノ流通高ニ異動ヲ来セシモノニテ例ハ十月上半ニ於テハ右各地銀行分寄地ニ於テ選收セルモノ多カリシ為メ当地ノ流通高表面上異常ニ減少シ又同月下旬ニ於テ流通高著シク増加シタル前期ニ選收シタルモノヲ右各地ニ回送シタル分ヲ先行高ニ立テタルヲ以テナリ要スルニ當地附近ニ於ケル在韓國仁川港 日本領事館 在田券ノ實際流通高ハ常ニ三萬圓ヲ下ケザルナラム

五田券ハ大取引ノ上ニ在田券ヨリモ便利ナルヲ以テ流通高漸次増加ノ傾アリ當港監理ハ曩ニ度支部ノ訓令ニ基キ五田券ノ流通ヲ妨ケルガ如キ告示ヲナシシレバ實際ニ於テハ其便利ナルトヲ換ノ確實ナルトヨリシテ韓人間ニ於ケル流通ニハ差シタル影響ヲ与ヘザリシモノ、如シ只茲ニ當局者ノ注意スルキハ該券ノ在留外國人間ニ於ケル信用ナリトス一般ニ在田券カニ付テハ受授上ニ實際ニ便宜アルヲ以テ殆ンド何等ノ故障ナラ流通ニ居レバ一面ニ於テハ政治上ノ意味ヨリシテ第一銀行券ノ流通ヲ喜ハザルモノアリ又他ノ一面



二六発行高ノ増加ニ連レ引換ノ信用ト監督ノ方法  
 トニ疑惧ヲ懐クモナキニアラズ聞ク所ニ於レハ  
 露佛西國人ハ該券ノ受授ヲ拒ムハキ尙各其政  
 府ノ命アリクソトナシテ右西國人ニ對スル仕拂  
 戻シテハ往々行違ヲ生スル例アリ例ハ東清鐵  
 道汽航會社ノ如キ佛國人、雜貨店ノ如キ第一  
 銀行券ノ仕拂ヲ拒ミ居レリ甚シキハ京仁鐵道  
 會社ニテ釣リ錢ヲ拂フニ當リテ或露國人ハ第一  
 銀行券ニテ仕拂ヲ拒ミソトノ説アリ以等  
 ハ英論或ハ政治上ノ意味ヨリシテ未ルモノシテ如  
 何トモスヘカラサルモノナリ米國人ノ側ニ於テハ該  
 券ノ流通ニ関シ未ダ何等ノ疑議アリシルヲ聞カサ  
 レモ英獨商人間ニ引換ノ信用ニ多クノ疑惧ヲ  
 在韓國仁川港 日本領事館  
 抱リモアルカ如ク既ニ香港上海銀行當地代理店  
 ニ於テハ其受授ヲハ内滑ニシテ居レモ出納ノ計算  
 上正貨ト同視セサルコトハ同々收受スルモノハ同  
 換ヲナスコトニシテ居ル概ナリ之レハ蓋シ第一銀行ノ  
 換準備ノ信用ト發行又準備ニ對スル我政府  
 ノ監督ノ如何ニ関シ銀行家トシテハ慎重心ニ出  
 ルモノナルハ勿論ナレハ機會アル毎ニ第一銀行ノ實情  
 及我政府監督ノ方法ヲ説明スルコトヲ急ラサルヲ以テ  
 同銀行ノ信用ノ増進ト共ニ漸々内滑ニ流通スル  
 ニ至ハント思ハル  
 右ノ如ク其原因ノ如何ヲ問ハス外國人側ニ於ケル  
 意向ハ今日迄ノ処ホ疑惧ノ状アルヲ免レサルヲ以  
 テ新クニ拾田券ヲ發行シ若シハ造田券又ハ五円

券發行高ヲ急激ニ増加スルカ如キハ可成特機ヲ  
 見計リ當分ハ慎重ノ態度ヲ取リテ漸次信用  
 ナルヲ勉メテ得策トスベシト思ハル  
 (二) 引換 銀行又ハ個人ト取引上ヨリ課税スルモノ最  
 ミ多シ單ニ日本銀行兌換證ヲ引換ヲ求ケルモノハ主  
 トシテ本邦又ハ其他韓國外ニ出テ往クモノニシテ特ニ  
 韓國人ニシテ引換ヲ請求スルモノ甚カク鮮シ  
 (三) 貨幣市場及ホセル影響 十月下旬以來當地ニ  
 於ケル銀行貸出日歩ハ頗ル下落セリト云之レ錯綜セ  
 ル種々ノ事情ヨリセルモノニシテ第一銀行ニ現存セ  
 ル日本銀行兌換券ノ高ガ常ニ第一銀行ノ券發  
 行高ヲ超越セル今日ノ情態ニ於テ該券發行ノ  
 影響トシテ生レシル金利ノ低落ト見ルハ大早  
 在韓國仁川港 日本領事館  
 計ナラント思ハルサアレ早晚幾分金利ヲ低落セシ  
 ムルニ至ルヘキハ豫期スヘキナリ







一、銀行者他出長行に於て發行し、全紙在  
 一、道拂者之美を括る

受第一五七三三號

明治三十四年四月九日接

一、銀行者他出長行に於て發行し、全紙在  
 一、道拂者之美を括る

明治三十四年四月九日接

在木浦 齋藤 春松 次三郎



外務大臣 野村 浩太郎 殿

在外公館

本信 齋藤 春松 次三郎  
 明治三十四年四月九日  
 外務省 野村 浩太郎 殿

3-1197

0293

九一三

六之

銀行者他生長  
一、道拂方之美元

百五のり本日

名式一覽辨銀

報多者及厚生

於此、坊段及上

十五年本月廿五日

在木浦

外務大臣男爵小村壽太郎殿

六年一月十日

在外公館

受第一五七三三號  
明治三十四年九月九日  
日接

（Faded handwritten text, likely a signature or official stamp)

分

本信爲御參考供貴覽候間  
御用濟御返却相成度候也

明治三十四年五月八日

外務省通商

外務省  
通商局

大島名海城乃

通商局

明治三十四年五月二十五日

3-1197

0294



一、第一銀行券流通ノ任及共託國  
 本浦地ヲ在ルルカ、即チ其券流通状況ニ就テ、前  
 後進、其託國ヲ擔シ、一、般ニ便利ヲ感シ、マ  
 リ、本邦九日、料、回、政、府、ハ、一、銀、行、一、覽、拂、玉、日  
 方、大、日、本、政、府、ノ、文、字、ナ、ク、右、料、必、各、支、店、等、ノ、文  
 字、アル、コト、モ、是、レ、音、料、回、ニ、テ、通、用、ス、ル、モ、ニ、シ、テ、  
 謂、日、料、回、ノ、通、貨、ニ、ア、ラ、サ、ル、ヲ、後、日、英、庫、等、  
 一、依、テ、之、カ、通、用、ヲ、禁、止、ス、ベ、シ、ト、三、條、ノ、川、  
 一、者、漢、監、理、ニ、與、一、五、日、券、ノ、通、用、ヲ、止、セ、ト、シ、タ  
 ル、モ、決、方、ハ、我、在、百、長、ヲ、控、テ、故、障、ナ、ク、之、を、擔、  
 シ、且、擔、方、全、權、視、ス、ル、ヲ、付、キ、料、一、シ、テ、之、ヲ、換  
 交、シ、カ、レ、バ、即、チ、再、上、ス、ル、ノ、外、ナ、キ、故、一、料、及、改  
 府、之、於、テ、大、ノ、如、キ、利、益、ヲ、發、シ、監、理、モ、一、立、川、  
 在、外、ハ、公、館  
 一、昔、如、シ、テ、命、令、ヲ、發、セ、シ、同、ハ、三、實、際、銀、行  
 一、者、接、妻、上、何、等、ノ、支、部、ヲ、來、サ、リ、シ、カ、之  
 一、群、山、ニ、於、テ、ル、未、穀、即、引、近、時、貯、盛、況、ヲ、呈  
 一、シ、去、地、サ、限、リ、兼、貯、シ、テ、充、テ、出、シ、在  
 一、換、ノ、任、ヲ、國、々、セ、ル、等、於、今、地、方、ニ、銀、行、上、  
 一、通、用、ノ、料、回、擴、張、セ、ル、ル、ニ、至、シ、リ  
 一、二、銀、行、券、ト、正、候、ト、引、換、ノ、果、況  
 一、前、項、ニ、述、ヘ、タ、ル、如、ク、料、回、政、府、ニ、於、テ、五、日、券、  
 一、ヲ、止、セ、ト、シ、在、テ、ラ、ル、モ、銀、行、券、ハ、至、テ、田、借、  
 一、通、シ、正、候、ト、引、換、ヲ、要、求、セ、シ、ト、強、シ、ト、皆、多、  
 一、リ  
 一、三、銀、行、券、券、率、以、東、一、般、貸、付、市、場、ニ、及、ビ、  
 一、ル、効果、及、不、良、及、ホ、シ、ク、影響

前報は異性ナラ畢竟銀行方は日本銀行  
 兌換券ト代河シテ流自 七九有様ナリ  
 (四) 銀行方發行票(收現)自 言及準備金矣  
 元銀近ノ調査ヲ示セル左ノ如シ

本行ノ天差言 併成 七、〇〇〇日

他ノ支店ニシテ發行ノ回送言 併成

他ノ支店ニシテ發行ノ回送言 併成 八五、二七九日

現流通言 併成 一九、二五〇日

内洋 併成 二六、一五四日

外洋 併成 二六、一五四日

在 外 公 館

正 貨 二、〇〇〇日

兌換券 二、〇〇〇日

兌換券 二、〇〇〇日

兌換券 二、〇〇〇日

兌換券 二、〇〇〇日



前持及異言ナラ畢竟浪河少日本銀行  
 總行代河シテ通電ナリ  
 四銀行方銀行還収限法通ナリ及準備  
 金ニ集スル記述ノ調査ヲ示セリ在ル

水元元差音 併行 高野 七六〇〇〇日

他支此之生活行通達音 一

銀行音 併行 高野 八五二七九日

還収音 一九一二五日

現法通音 六六一五四日

内注 併行 高野 三三七九日

加子付元準備金 六六一五四日

内注 正法 高野 六三〇〇日

在 外 公 館 六三〇〇日

六三〇〇日

六三〇〇日

六三〇〇日

六三〇〇日

六三〇〇日

明治三十五年十二月四日受

第一二四號

第一五七三四號

本浦三行ノ一銀行ノ考査行ノ性況定地換査成績報告ノ件

本浦三行ノ一銀行ノ考査行ノ性況定地換査ノ件  
本行ハ二ノ千ノ九行本行ノ一銀行本浦三行ノ  
二行ノ各種帳簿ヲ換閱シ且ハ準備金ノ現在言  
ヲ調査陸ノ支一自考五日若クハ元支言流通  
言ノ年在言及之ノ村スル準備金ノ存在言ノ左  
ノ通ニ考ヘテ

種	元支言	流通言	手許在言
一日券	三二〇〇〇	二八七四四	三二五二
五日券	四〇〇〇〇	三六八一五	一一八五
合計	七二〇〇〇	六七五五九	四四四一

準備金六萬七千五百五十九圓也

内譯 正貨 六萬七千五百五十九圓也  
準備金ノ全生海行ニ於ケル現在金ノ詳末ニハ左  
ノ如シ但シ前此準備金ノ左表ノ中ニ包合ス

全貨 千五百圓也

紙幣 八萬五千圓也

補印候 式ノ四万九千圓也

白紙貨 九千圓也

卸貨 五萬五千圓也

就債 五萬九千七百八十九圓也

合計 八萬九千五百九十九圓也

右左報告ノ致具

本浦三行ノ一銀行

明治三十五年丁未七月九日

在木浦館長 若松貞三郎



外務大臣 小村壽太郎殿

在外公館



明治卅五年十二月五日受 警署通函第三號

公第一八四号

受第一五七六

分一銀行 全支店 存貯 無記名式  
一 貨物 銀行 存貯 書 其 為 三 國 之 件

本年十月十六日 令 三十九日 三 國 之 間  
二 於 之 一 銀行 全支店 無記名式  
一 貨物 銀行 存貯 書 其 行 復 況 估 例  
別 成 通 及 報 告 三 國 之 件 可 於 此 處  
斗 抄 成 及 此 處 申 進 手 務 具 矣  
明治三十五年十月十日

在 在 在 在

總領事官 補 今 井 吉 三  
在 朝鮮 國 釜 山 日 本 領 事 館



外務大臣 閣下 奉 命 印 殿

明治三十二年  
十月二十九日 在韓國第一銀行 奉山支  
店 銀行 奉山支店 奉山支店

一本 奉山支店 奉山支店 奉山支店 二一三、〇〇〇、〇〇四

一他 奉山支店 奉山支店 奉山支店 二〇、〇〇〇、〇〇〇

一他 奉山支店 奉山支店 奉山支店 〇

一發行 奉山支店 奉山支店 奉山支店 二七〇、五九〇

一還 奉山支店 奉山支店 奉山支店 一四一、九〇一

一現 奉山支店 奉山支店 奉山支店 三三八、六六九

一四 奉山支店 奉山支店 奉山支店 二八、五三四

一五 奉山支店 奉山支店 奉山支店 二〇、一三五

一十四 奉山支店 奉山支店 奉山支店 〇

一奉山支店 奉山支店 奉山支店 〇

一正 奉山支店 奉山支店 奉山支店 〇

在朝鮮國釜山日本領事館

一奉山支店 奉山支店 奉山支店 奉山支店 一一〇、〇〇〇

一奉山支店 奉山支店 奉山支店 奉山支店 〇

一奉山支店 奉山支店 奉山支店 奉山支店 〇

一奉山支店 奉山支店 奉山支店 奉山支店 〇

一奉山支店 奉山支店 奉山支店 奉山支店 〇

一奉山支店 奉山支店 奉山支店 奉山支店 〇

一奉山支店 奉山支店 奉山支店 奉山支店 〇

一奉山支店 奉山支店 奉山支店 奉山支店 〇

一奉山支店 奉山支店 奉山支店 奉山支店 〇

一奉山支店 奉山支店 奉山支店 奉山支店 〇

一奉山支店 奉山支店 奉山支店 奉山支店 〇

一奉山支店 奉山支店 奉山支店 奉山支店 〇

一奉山支店 奉山支店 奉山支店 奉山支店 〇

一奉山支店 奉山支店 奉山支店 奉山支店 〇





八二九ノ号  
三月十三日受  
第一六五號

通商局

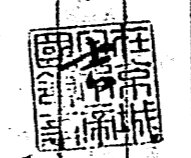
受第一三三三九號  
三月十七日接

報り券景況報告  
自十一月二十六日  
以来三月五日

三月五日

左系林  
頃事 三橋久木

外務大臣 小松若木



三月五日

外務省通商局  
大蔵省理財局  
三月五日



3-1197

0305

八二五ノ号  
三月十三日受  
第一六五號

報り券景況報告  
自十一月廿二日午後十時  
及色書り糸うらひめし

左系

大政大臣内務省

十二月廿三日

通商局  
帳簿三三三六  
對中五十七日接交

通商局

大政大臣内務省

本信爲御參考供貴覽候間  
御用濟御返却相成度候也  
明治五年五月十六日  
外務省通商局  
外務省  
通商局

3-1197

0306

自明治三十五年十一月二日至十一月十五日在京城第一銀行出張所銀行券景況報告

一本店ヨリ元受高

無シ

一他ノ支店又ハ出張所へ回送高

無シ

一他ノ支店又ハ出張所ヨリ受入高

無シ

一發行高

金拾萬五百叁拾九圓也

一還收高

金九万壹千貳百叁拾九圓也

現流通高

金七万八千圓也

内一圓券

金八千圓也

五圓券

金七萬圓也

十圓券

無シ

右ニ對スル準備金

一金七萬八千圓也

在韓國京城日本領事館

日本銀行兌換券

金六万六千圓也

一銀行券流通ノ便否及其範圍

前回報告ト異動キレ

一銀行券ト正貨ト引換ノ景況

引換ノ求ル者キレ

一銀行券發行以來一般ノ貨幣市場ニ及ホレル効果及貿易上ニ及ホレル

影響

前回報告ト異動キレ

右及報告也

明治三十五年十一月十八日

在京城

領事

三增久米



要  
第  
五  
七  
番  
本  
書

在 韓 國 仁 川 日 本 領 事 館

明治卅五年十二月十三日  
受第一二二五号  
理 録 外 第 二 七 號  
對 出 十 三 日 接 受

公 第 二 二 五 号

第一銀行券景況報告、件

第一銀行發行銀行券景況調査、上報告

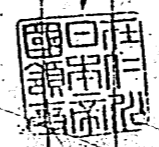
書及提出委員、御査収相成度矣

敬 具

明治三十五年十二月三日

在 仁 川

領 事 加 藤 本 四 郎



外務大臣 野村 善太郎 殿

明治三十五年十二月十三日

奉 信 中 國 國 際 公 文 書 館  
外 務 省 領 事 館  
報 煩 送 込

3-1197

0308



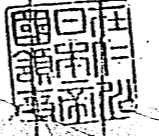
受第一三三三六  
料 丁卯年七月  
理 無  
通商局  
五号

銀行券景況報告、件  
發行銀行券景況調査、上報告  
公委条 即查收相成度矣

十五年十二月三日

在仁川

領事 加藤本四郎



小村壽太郎殿

本信中五内奉... 他... 正... 同... 報... 外務省通商局  
大藏省  
外務省通商局  
大藏省  
外務省通商局

3-1197

0309



明治三十五年十一月<sup>自十六日</sup>至<sup>三十一日</sup>在韓國第一銀行仁川支店銀行券景況報告

種類	壹圓券	五圓券	拾圓券	計
本店ヨリ元受高	八〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇		九〇,〇〇〇
他ノ支店又ハ出張所へ 回送高		二〇,〇〇〇		二〇,〇〇〇
他ノ支店又ハ出張所ヨリ 受入高				
差引受入高	八〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇		二一〇,〇〇〇
前期末流通高	二四六〇	九,〇九七五		一,一九四三五
本期中發行高	一一九五二	一八六七七五		一九八,三二七
計	三六,〇一二	二七七七五〇		三三三,七六二
本期中還收高	一〇,九〇四	一五一,八〇		一六一,九八四
現流通高	二五,一一八	一二六,六七〇		一五二,七七八
準備高	二五,一一八	七九四,〇五		一,〇四五,一三
正貨		一六七五一		一六七五一
在韓國仁川港	二五,一一八	六二六五四		八七,七六二
日本領事館				

(1) 銀行券流通ノ便否及其範圍

(2) 銀行券ト正貨又ハ日本銀行兌換券ト引換ノ景況

(3) 銀行券發行以來一般ノ貨幣市場ニ及ボシタル效果及貿易上ニ及ボシタル影響

存  
書  
3、

在朝鮮京城日領事館

宣統元年十二月十八日  
臺灣總督府

宣統元年十二月十八日

第一銀行表景以報告  
自十一月十六日正午九日分

右記帳簿及進支帳簿等  
係由本行經理人

王承休

宣統元年十二月十八日

王承休

任事 王承休



外務大臣野村吉三郎

宣統元年一月十日

宣統元年十二月十八日  
宣統元年十二月十八日

3-1197

0312

二月十八日 臺灣總督府

第一九號

銀行券景況報告

自十一月十六日即十二月廿九日

一、概況

以上之如左

至五、五、五

候事 之 坊 久 弟



大正六年一月十日

三、六年一月十日

大正六年一月十日  
外務省通商司  
世五、五、五  
大正六年一月十日

3-1197

0313

一月十八日發給 通商局

二六九號

銀行券景況報告

自十一月十六日即十一月廿九日分

成りし由り及此迄の概況を記す

支那

至

大日本銀行

三十六年一月十日

第 八 四 号  
明治卅五年正月九日

本信爲御參考供覽候間  
御用濟御返却相成度候也

外務省通商局

外務省

大務省理財部

通商局

自明治三十五年十二月十六日至十九日在京城第三銀行出張所銀行券景況報告

一本店ヨリ元受高

無し

一他ノ支店又ハ出張所へ回送高

無し

一他ノ支店又ハ出張所ヨリ受入高

無し

一發行高

金六万九千九百四也

一還收高

金六万九千九百四也

現流通高

金七万九千六百四也

内一圓券

金七万九千六百四也

五圓券

金六万九千四也

十圓券

無し

右ニ對スル準備金

一金六万九千六百四也

内 正貨 金七万九千四也

在韓國京城日本領事館

日本銀行兌換券

金五万六千四也

一銀行券流通ノ便否及其範圍

前回報告ト異動無し

一銀行券ト正貨ト引換ノ景況

引換ノ求ムル者無し

一銀行券發行以來一般化貨幣市場ニ及スル効果及影響上ニ及スル影響

右前回報告ト異動無し

右及報告也

明治三十五年十二月一日

在京城

領事 三増久米



東京  
山

在韓國仁川日本領事館

明治廿六年一月六日發 郵 通商局

公第 三九号

第一九六號

第一銀行券報告書提出件

別紙第一銀行券景況報告書及提出美間  
御査閱相成度以故申進美敬具

明治三十五年十二月十九日

在二

領事加藤本四郎



外務大臣男爵小村壽太郎殿

三十六年一月十六日發 郵 通商局





明治卅六年一月六日

公債第七 六號

第一銀行一覽券流通模倣報告

受第二四〇 號

明治卅二年一月九日

第一銀行一覽券ノ當市ニ入ルハ本年六月廿一日ヨリ即チ在鎮南浦  
 同行出張所主任ガ試ニ一圓券二百枚ヲ携帶シ来リテ始メ先是當  
 地ハ既ニ郵便局開設セリ從テ爲替ノ便ニ開ケルニ何分日貨押底  
 ナルト其多ク補助小銀貨ニ尤テ以テ充分其利便ヲ享ケル能ハザリ  
 際ナリシカバ該券ノ發行ハ我高一般ノ大ニ歡迎ス所ト爲リ尔後漢船  
 ノ来往旅客ノ出入毎ニ漸次仁川又ハ鎮南浦等ヨリ流入スルモノ數カ  
 其後八月下旬更ニ同五圓券ヲ發行スルヤ特ニ當地ハ廻送セシ原金  
 一〇〇市上ハ忽チ其流通ヲ見シメテ九月下旬乃至十月上旬ニ於テ  
 在鎮南浦同行出張所ヨリ該券ノ押渡セラルル壹万余圓該券ノ幾  
 其全數ヲ當地ニ持来テ白銅ト交換セシ形跡明ナリ唯今通貨  
 一〇〇市上ハ忽チ其流通ヲ見シメテ九月下旬乃至十月上旬ニ於テ  
 在鎮南浦同行出張所ヨリ該券ノ押渡セラルル壹万余圓該券ノ幾  
 其全數ヲ當地ニ持来テ白銅ト交換セシ形跡明ナリ唯今通貨

在外公館(平壤)

トレノ流通ハホク一般韓人ニ及ハザレカ故ニ其入ルルハ隨テ仁川ニ運送  
 セル、都合ナレバ現在本邦人ノ手ニ留ムル該券ノ額ハ凡ソ在如クナレ

壹圓券 六百圓  
 五圓券 千貳百圓

然ルニ由來韓商ハ韓貨ヲ標準トシテ高業上ノ利害ヲ判ルカ故ニ鎮南  
 浦又ハ仁川ト當地ニ於ケル日貨ト白銅ノ交換差ヲ目的トシ前記各地  
 ヲ紙幣ヲ購来リ之ヲ當地ニ於テ放賣スルヲ以テ一種ノ利益事業  
 ト見做シ者アリ清國高モ亦之ニ類ニス思惑ヲ爲ス者アレハ彼等ノ手  
 ニ現存スル銀行券ハ尚ホ三四千圓ニ下ラザレバト云

右ノ状況ニテ以テ韓人間ニ於テホク普通ノ取引ニ使用セラレルニ其  
 信用ノ厚キハ毫モ兌換紙幣ト異ラザレカ故ニ此時ニ際シ第一銀行ニ於  
 テ支店又ハ出張所ヲ當地ニ設ケ金融ノ鎖鑰ヲ握リ同時該券流  
 通ニ対直接動作ヲ爲スバ其一般流通ヲ見ルニ至リテ期ニ待可ク

大正  
 卅二年  
 一月九日  
 在外公館  
 平壤

3-1197

0318

銀行一覽券流通摸樣報告

一九二二年一月九日

押券ノ當市ニ入ルハ本年六月廿一日即チ在鎮南浦  
主任ガ試ニ一四券二百枚ヲ携帶シ来リテ始メ先是當  
局開設セシ後ヲ爲替ノ便ニ開ケルモ何分日貨押底  
補助小銀貨ニ尤テ充分其利便ヲ享クル能ハザリシ  
券ノ發行ハ我高一般大ニ歡迎ス所ト爲ル後漢船  
出入毎ニ漸次仁川又ハ鎮南浦等ヨリ流入スルモノ甚カク  
尙更ニ同五円券ヲ發行スルヤ特ニ當地ニ運送セシ原金ヲ  
心ケ其流通ヲ見シメテ九月下旬乃至十月上旬ニ於テ  
行出張所ヨリ韓南押渡セル壹万余円該券ハ幾  
此地ニ持来リテ白銅ト交換セシメ形跡明ナリ唯今通貨  
六日

在外公館(平壤)

亦多一般韓人ニ及ボザルカ故ニ其入ルモノハ隨テ仁川ニ運送  
ハ現在本邦人ノ手ニ留ムル該券ハ頗ル凡ク如クナリ  
円券 六百円

円券 千貳百円

韓南ハ韓貨ヲ標準トシテ商業上ノ利害ヲ判スルカ故ニ鎮南  
當地ニ於ケル日貨ト白銅ト交換差ヲ目的トシ前記各地  
姆来リ之ヲ當地ニ於テ放賣スルヲ以テ一種ノ利益事業  
ナリ清國高モ亦之ニ類ヒ思惑ヲ爲メ者アレハ彼等ノ手  
行券ハ尙ホ三四千円ニ下ラザレト云

以テ韓人間ニ於テオク普通ノ取引ニ使用セラレタルモ其  
毫モ兌換紙幣ト異ラズルカ故ニ此時際ニ第一銀行ニ於  
出張所ノ當地ニ設ケ金融ノ鎖鑰ヲ握ルト同時該券流  
動作ヲ爲スル其一般流通ヲ見ルニ莫ク期シテ待テ可ク

大正十一年一月十五日  
通商局  
局長 田中 尚  
大正十一年一月十五日  
外務省通商局  
田中 尚

六日 通商局

銀行一覽 押券流通模様

押券ノ當市ニ入ルハ本年

主任ガ試ニ一四券二百枚ヲ

局開設セシ後ヲ為替ノ

補助小銀貨ニシテ以テ

券ノ發行ハ我高一般ノ

出入毎ニ漸次仁川又ハ鎮南浦等ヨリ流入スルモノ數カス

同更ニ同五円券ヲ發行スヤ特ニ當地ニ廻送セシ原金ヲ

心ケ其流通ヲ見シニ九月下旬乃至十月月上旬ニ於テ

行出張所ヨリ韓高ニ押渡セル壹万余円ノ該券ハ幾

此地ニ持來テ白銅ト交換セル形跡明ナリ唯々現今通貨

六日 在外公館(平壤)

亦一般韓人ニ及ボケルカ故ニ其入ルモノハ隨テ仁川ニ運送

現在本邦人ノ手ニ留セル該券ハ頗ル左ノ如クナリ

山券 六百円

山券 千貳百円

韓商ハ韓貨ヲ標準トシテ高業上ノ利害ヲ判スルカ故ニ鎮南

當地ニ於ケル日貨ト白銅ト交換差ヲ目的トシ前記各地

婦來リテ之ヲ當地ニ於テ放賣スルヲ以テ一種ノ利益事業

アリ清國商モ亦之ニ類ニ思惑ヲ為ス者アレハ彼等ノ手

行券ハ尚ホ三四千円ニ下ラカレバト云

以テ韓人間ニ於テホク普通ノ取引ニ使用セラレタルニ其

毫ニ兌換紙幣ト異ラレルカ故ニ此時際ニ第一銀行ニ於

出張所ヲ當地ニ設ケ金融ノ鎖鑰ヲ握ル同時該券流

動作ヲ為テ其一般ノ流通ヲ見ルニ至ルト期シテ待テ可ク



大正 九月九日 文書課 接受

本信爲御參考供貴覽候間  
御用濟御返却相成度候也  
明治三十二年一月八日

外務省通商局  
大正 文書課 接受

外務省  
通商局

尚不独り當地、ニテス進ニテ雲山殷山或ハ安州地方之ヲ擴張スル  
機ニヘキヲ疑ハガレナリ

右及報告候 敬具

明治三十五年十二月廿七日

平壤分館主任

外務書記生 新庄 順貞

在平壤  
分館主任  
印之章

外務大臣 月爵 小村 壽太郎 殿

進テ本分駐京公使ニ報告致置候

在外公館(平壤)





手紙  
物内

朝鮮鮮京日領事館

大第 二 十 号  
明治廿六年一月九日受  
高接受

明治廿六年一月九日受

公信第一七九號

管通商

理銀  
財部  
明治廿六年一月九日受

一第一領事署景況報告 自十月三十日迄十二月十二日

右分送し海軍及通商部各一紙

長官各一紙

明治廿五年十二月十二日

王 系 性

領事 乙 坊 久 末 吉

分秘方官署小村長六人

三十六年一月廿二日配録

外務

本領事館  
明治廿六年一月九日受

3-1197

0324



第八第 二 十 号  
廿六年一月九日受

第一七九號

管通高彩村

理銀 二 元 五 角 五 分  
財 二 元 一 角 五 分  
廿六年一月九日受

第一報り券景況報告 自十月三十一日十二月三十一日

分枝一海及直達一系の如何分付

成金一紙

明治三十四年十二月十一日

主 系 性

任事 之 恒久 未 去

分枝本下男持小村某大下

十六年一月廿二日配録

明治三十四年一月廿二日受 管通高彩村  
本信 一 元 五 角 五 分 及 付  
直 達 一 系 之 如 何 分 付  
廿六年一月九日  
大 持 者 小 村 某 大 下  
外 務 省 通 高 彩 村

3-1197

0325

第八号  
廿六年一月九日受

第一七九號

第一銀行券景況状生

分城ノ海ノ又庄

明治三十四年十一月

左京村

伝

分秘右ノ里寺小村

十六年一月廿二日配録

理銀官  
財部  
明治三十四年十一月

第三九一

本信爲御参考供貴覽候間  
御用濟御返却相成度候也

明治三十四年一月廿二日

外務省通商局

外務省  
通商局

分秘右ノ里寺小村

3-1197

0326

自明治三十五年十一月三十日至十二月十三日在東京第二銀行出張所銀行券景況報告

一 本店ヨリ元受高

無し

一 他ノ支店又ハ出張所へ回送高

無し

一 他ノ支店又ハ出張所ヨリ受入高

無し

一 發行高

金拾壹万六千九百八十四圓也

一 還收高

金拾四万九千七百七十六圓也

現流通高

金六万七千七百八十四圓也

内一圓券

金壹万八千五百六十八圓也

五圓券

金五万六千七百五十六圓也

十圓券

無し

右ニ對スル準備金

一金六万七千七百八十四圓也

内 正貨 金壹万貳千圓也

在韓國京城日本領事館

日本銀行兌換券

金五万五千貳百八十四圓也

一 銀行券流通ノ便否及其範圍

前回報告ト異動無し

一 銀行券ト正貨ト引換ノ景況

引換ノ求ムル者なし

一 銀行券發行以來一般貨幣市場ニ及スル効果及貿易上ニ及セリノ影響

本年五月廿八日本券發行以來一般貨幣市場ニ如何ノ効果ヲ及セシヤトカフ、去十一月中旬マデ、特記載スルホドノ現象ヲ呈セリ、十一月下旬頃ヨリ米穀輸出ノ時季ニ入リ、ソレノ俄、轉貨ノ需要ヲ喚起シ、陸日貨ノ逼迫ヲ来シ、降レ幸、本券ノ在、アリテ本券、此ノ逼迫、應レ能、救濟、結果ヲ奏セリ、其他、近日節季、迫リ正月、對シテ貨物仕入、ルノ一般、資金缺乏、折柄本券、此ノ間、在リ、金融逼迫、融和スル、効果ヲ呈セリ

右及報告候也

明治三十五年十二月十六日

在京城 領事 三増久米吉

手取  
4/10

明治廿六年一月十二日  
公券貳号

理銀券二五八號  
明治廿一年一月十五日接受

第一銀行 釜山支店 發行ノ無記名  
式一覽拂 銀行券發行ノ周知  
報告ノ件

明治廿五年十二月十六日ヨリ今年一月迄  
間ニ於テ第一銀行 釜山支店無記名  
式一覽拂 銀行券發行ノ現況依  
例別紙ニ通及報告書ヲ呈奉可然御  
取計 相成度此致申進云々 敬具  
明治廿六年一月十日

在釜山

領事館事務代理

領事官補 今井 忍

在朝鮮國釜山日本領事館



外務省 理財少輔 齋藤 啓

明治廿六年一月十日  
外務省  
理財少輔 齋藤 啓

十二月廿三日  
朝鮮國領事館  
領事官  
領事官  
領事官

理銀第 二五八 號乙  
對 北平 一月十五日 接受

第一銀行 全山支店 廢止 無記名  
式一覽 拂 銀行 券 發行 二周 為  
報告 一 件

中華民國十六年十一月十日  
第一銀行 全山支店 無記名  
拂 銀行 券 發行 現況 依  
紙 一通 及 報告 書 彙 集 冊 然 御  
相成 度 此 段 申 進 呈 為 具

在全山

領事館 事務 代理

領事官 補 今 井 忠

在朝鮮國 全山 本領事館



臣 野 島 少 村 壽 吉 郎 殿

大 正 十 六 年 十 一 月 十 日  
全 山 支 店 無 記 名 拂 銀 行 券 發 行 現 況 依 紙 一 通 及 報 告 書 彙 集 冊 然 御 相 成 度 此 段 申 進 呈 為 具  
外 務 省 通 達 第 一 〇 〇 號

3-1197

0329

十二日  
第一銀行

理  
銀  
號  
二  
五  
八  
號  
乙  
對  
此  
大  
正  
一  
年  
一  
月  
十  
日  
接  
受

第一銀行

式一覽掛

報告一併

大正十一年十月十日

第一銀行

紙一通及報

相成度北段

大正十一年一月十日

在金山

領事館事務代理

領事官柳金井君

在朝鮮國金山本領事館

在金山

領事館事務代理

領事官柳金井君

在朝鮮國金山本領事館

在金山

領事館事務代理

領事官柳金井君

在朝鮮國金山本領事館

在金山

領事館事務代理

領事官柳金井君

在朝鮮國金山本領事館

四  
五  
〇

本信爲御參考供貴覽候間  
御用濟御返却相成度候也  
明治十一年一月十日

外務省通商局

大務方理成爲

外務省

大第 二 九 号

言 第 十 五 号 書 課 接 受

明治三十四年  
在韓因分銀行及釜山支店

銀行の存景況報告

一 本店より元受高 春八〇、〇〇〇、〇〇円

一 他支店より出張所へ回送高 五〇、〇〇〇、〇〇

一 他支店より出張所より支入高 〇

一 發行高 春八八、〇〇〇、〇〇

一 還收高 春八〇、〇〇〇、〇〇

現流通高 五〇、〇〇〇、〇〇

一 一田高 五八、〇〇〇、〇〇

一 二田高 五九、〇〇〇、〇〇

一 三田高 五九、〇〇〇、〇〇

一 大に對する準備金 五、五〇〇、〇〇

一 一五債 五、五〇〇、〇〇

在朝鮮國釜山日本領事館

一 日本銀行兌換券 春四、五〇〇、〇〇

備考

當期に於て銀行の流通高約六萬圓弱

を増加せし理由は第一、年未に際し民間の

取引頻繁となり、從つて三萬圓許の要せし

第二、宗全鐵道用俸給及雜費の

支拂下り三萬圓を支出せしに依り

手書  
受取  
年月  
日



在韓國仁川日本領事館

明治廿六年一月十六日

公第一号

第一銀行券景況報告件

受第百九二號

別紙第一銀行發行銀行券景況報告書及提  
出矣聞御査閱相成愛以致申進矣敬具

明治二十六年一月六日

在

領事加藤木四郎



外務大臣男爵小村壽太郎殿

理  
銀  
一  
月  
十七日  
接  
受

三  
六  
年  
一  
月  
廿  
七  
日

明治廿六年

外務  
廿六年一月



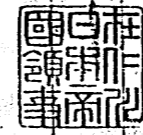
第一八十六日 郵政省 附録

第一号 第一銀行券景況報告件 受第六九二號

第一銀行發行銀行券景況報告書及提  
天胡却查閱相成受以叙申進美敬具

明治二十六年一月六日

在二川 領事加藤本四郎



外務大臣男爵小村壽太郎殿

理 郵政省 第一八十六日 附録 乙

六年一月廿七日

明治廿六年一月廿四日 郵政省

本信を以て海内各友

に及んで候也

廿六年一月廿四日 郵政省

外務省通商司

3-1197

0333

第一八十六日 總務局

第一銀行券景況報告件

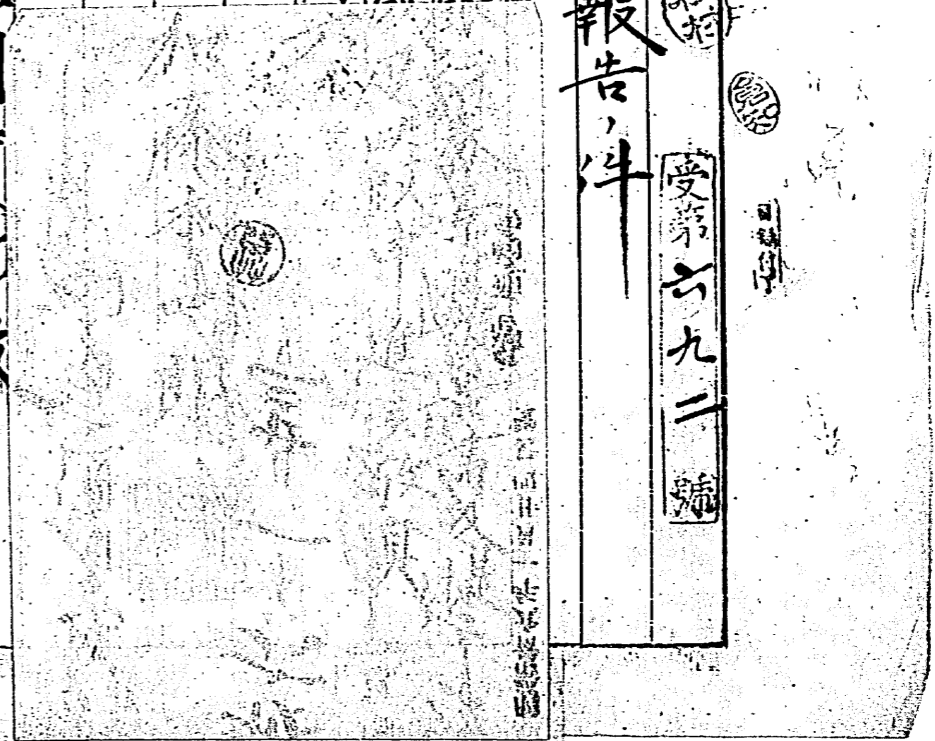
受第六九二號

第一銀行發行  
天湖御査閱相  
明治二十六年一月  
在  
領事

大蔵大臣野村壽太郎殿

六年一月廿七日

理  
領事  
第一  
月十七日  
接



大第  
明治二十六年一月十七日  
言課接受

本信爲御參考供貴覽候間  
御用濟御返却相成度候也  
明治二十六年一月廿六日  
外務省通商局

外務省  
通商局

本信爲御參考供貴覽候間  
御用濟御返却相成度候也  
明治二十六年一月廿六日  
外務省通商局

明治三十九年十二月自計六日在韓國第一銀行仁川支店銀行券景況報告

種 類	壹 圓 券	五 圓 券	拾 圓 券	計
本店ヨリ元受高	八〇〇〇〇	一八〇〇〇	一〇〇〇〇	三六〇〇〇
他ノ支店又ハ出張所(回送高)				
他ノ支店又ハ出張所ヨリ受入高				
差引受入高	八〇〇〇〇	一八〇〇〇	一〇〇〇〇	三六〇〇〇
前期末流通高	四九八二七	一五六三三		二〇二〇五
本期中發行高	五六八一	二二二三	一四七七五	三七四七一
計	五一五〇八	三七七五三	一四七七五	五七六七八
本期中還收高	一二三二	二二一九	四九八三	二七四〇五
現流通高	三九一八八	一六五六三	九七九二	三二二七三
準備高	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	七〇〇〇	二〇〇〇〇
正 貨				
日本銀行兌換券	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	七〇〇〇	二〇〇〇〇
在韓國仁川港 日本領事館				
(1) 銀行券流通ノ便否及其範圍				
(2) 銀行券ト正貨又ハ日本銀行兌換券ト引換ノ景況				
(3) 銀行券發行以來一般ノ貨幣市場ニ及ボシタル效果及貿易上ニ及ボシタル影響				

第一銀行本由出浪訂銀行方呈渡

自明治三十五年三月廿六日

本行より元金

五五、〇〇〇日

他、支取又生浪訂通書

仲立及又生浪訂了通書

送行書

五、〇〇〇日

送行書

五、〇〇〇日

限出通書

五、〇〇〇日

内込 一百書

五、〇〇〇日

十書

五、〇〇〇日

おとす準備金

七〇、〇〇〇日

内込 正貸

七〇、〇〇日

在外公館

(一) 銀行方通、任者及共範囲

流通範囲益擴張して取便益多其、一、秋

取、未年未、波、資金、連、轉、多、滞、ナリ

此、秋、期、に、於、て、限、り、者、格、受、極、に、回、滿、ナ、リ、其

他、寄、付、金、も、甚、多、シ

(二) 銀行方、正、候、引、換、手、取、返

お、付、金、も、甚、多、シ

(三) 銀行方、送、り、に、未、一、般、の、送、金、手、取、及、ホ、シ、え、部

果、及、手、取、及、ホ、シ、え、部、等

お、付、金、も、甚、多、シ

日本南洋銀行方算表

自昭和五年十一月一日

七五九、〇〇〇圓

長江回送金

長江回送金

七〇、〇〇〇圓

七〇、〇〇〇圓

七〇、〇〇〇圓

七〇、〇〇〇圓

七〇、〇〇〇圓

七〇、〇〇〇圓

七〇、〇〇〇圓

七〇、〇〇〇圓

在外公館

支店

支店

支店

支店

支店

支店

支店

支店

支店

支店

支店

本行 監見済

大蔵省理財局

共 年 月 日

大蔵省理財局

外務省通商局

日本南洋銀行

廣行 通商

廣行 通商

正貨

備金

正貨

備金

七〇、〇〇〇

七〇、〇〇〇

七〇、〇〇〇

七〇、〇〇〇

在外公館

廣行 通商

廣行 通商

廣行 通商

廣行 通商

廣行 通商

廣行 通商

廣行 通商

廣行 通商

廣行 通商

明治廿六年一月三日

外務省通商局

外務省通商局

大藏省

文書課

本信爲御參考供貴覽俾聞

御用濟御返却相成俾候也

其六、  
宜角白  
州白

明治廿六年一月廿二日

警備部  
封

理 銀第五五〇號  
財 二十一年一月廿日接受

韓分四号

受第九五二六號

第一銀行、全山支店に於て無記名  
式一覽拂 銀行券發行  
二 周知報告ノ件  
本年一月一日より今十五日ニ至る間ニ於て  
亦一銀行、全山支店無記名式一覽見拂  
銀行券發行ノ現況依例別紙ノ通  
外務大臣及報告長兼御朱印  
考迄 右進達致ス 為目

明治廿六年一月十六日

在 全山

領事館事務代理

領事官 浦 金 弁 君

明治廿六年一月十七日

在朝鮮國全山日本領事館



臨時代理公使 萩原守一 殿

外務大臣

明治廿六年一月廿二日  
本館  
外務大臣  
大藏大臣

3-1197

0339

月廿二日  
理 銀第 五九〇 號乙  
財 二十一年一月廿日接受

受第九五二六號

四号

第一銀行 釜山支店 於之無記名  
式一覽拂 銀行 券 發行

二月一號 報告ノ件

行 釜山支店 無記名式一覽拂  
券 發行ノ現況 依例 別紙ノ通

大度 及 報告 表 係 御 手 元  
在 釜 山

明治三十二年一月十七日

在釜山

領事館事務代理

領事官 浦 今 井 忠

在朝鮮國釜山日本領事館



時代 代理 公使 萩原 守一 殿

明治三十二年一月廿七日受

年 信 託 金 以 存 及

及 了 度 也

世 一 大 領 事 官

外 務 省 通 信 局

3-1197

0340



明治二十一年一月廿日

理 銀第 五九〇 號乙  
財 二十一年一月廿日 首接受  
受第 九五六 號

受第 九五六 號

第一銀行

式一覽表

二月一日

行 金山支店

券 發行

大臣 及 郵

大臣 及 郵

大臣 及 郵

明治二十一年一月十六日

在 金山

領事館事務代理

領事官 浦 金 弁 為

在 朝鮮 國 金山 日本 領事 館

時代 代理 公使 萩原 守一 殿

大藏 第六二二 號  
省 第六二二 號  
明治二十一年一月廿日

大臣 及 郵

外務省 通商局

外務省 通商局

本信為御參考供貴覽候間  
御用濟御返却相成度候也

明治二十一年一月廿日

3-1197

0341

明治三十五年 在韓國第一銀行 產出支店  
一月十五日 銀行若星況報告

一 本店支店及出張所 同送高	〇
一 他ノ支店及出張所 同送高	〇
一 發行高	四一六、七九七
一 取込高	貳〇、七、七四
一 現流通高	三〇、五、四三、八
内 一月券	三、七、七五、八
五円券	七、〇、八、七、六、五
十円券	七、九、五、〇、〇
一 在朝鮮國金 留本領事館	四、五、〇、〇
一 正債	
一 日本銀行兌換券	七、七、五、〇、〇
備考	

還收高ノ増加セシハ各地ノ銀行支店より日本ノ  
送金ノ多ク貳萬五千円ノ引替アリタル事  
準備金ノ前回ニ比シ減少セシ理由ハ前回ニ於  
テ、年末ニ際セルト銀行手許有金ノ餘額  
アリトシテ一時準備金額ヲ増加セシモノ  
当期ニ於テ之ヲ銀行内規ノ普通準備  
備金額ニ復セシナリ

附記事項トシテ他ニ特記スルキコトナシ

了承志

可之月

明治卅五年十二月廿二日

第七五號

第一銀行者地出限行行行發行、無託名式  
一覽排方二系二報告

本年十二月廿二日  
凡多託名式一覽排銀行者、呈報別紙、函了取  
調、報告者及母生、古古查國相成込別紙  
二角相所、坊及報告、致具

明治卅五年十二月九日

在木浦領事松久三郎

外務大臣男爵小村壽大郎殿

三十一年一月十五日

在外公館

明治卅五年十二月廿二日

受第一六七六八號

外務  
明治卅五年  
十二月九日

3-1197

0343

百景書局

七五

銀行考地生張計 行々發行ノ無記名式  
ノ掛考ニ係ルニ報告

受第一二七三六

興中  
二十九年  
三月廿九日  
午後

世より今日月廿九日ニ至ル期間當地ニ於テ  
式一覽掛銀行考ノ單現別紙ノ通リ取  
在木浦領事松久三郎  
五月十二日  
及報告ノ致具



務大臣男爵小村壽大郎殿

在外公館

本館  
六月廿一日  
大森有輝  
外務省通商局

3-1197

0344

日本郵便局

七五

銀行書紙出張封子行ノ魚七名式  
八掛方ニ系ル

也三ノリ全日

式一貨拂銀

右書及母生中

ハ坊及及相

五ノ年十二日

在木浦

在木浦

國運奉

務大臣男爵小村壽太郎殿

在外公館

6.

封子  
五ノ年十二月廿九日  
封子

受第一二七三ノ

本信爲御參考供貴覽候間  
御用濟御返却相成度候也  
明治廿五年十二月廿九日

外務省通商局

大花考

印

明治廿五年十二月廿九日

第一銀行本館及支店

（自明治二十一年一月一日現在）

本邦より元金

七、五〇〇〇圓

他、支店より元金

〃

銀行

七、六九〇一圓

現預金

九、五九六〇圓

現預金

二、七三〇五圓

中譯

一日券

二、九五六〇圓

十日券

三、七四五〇圓

右、貯金準備金

一、三〇五〇圓

中譯

正俟

二、〇〇五〇圓

在外公館

一、銀行券流通、所有及支取額

二、銀行券上正俟、引換ノ異状

三、銀行券發行以來、紙ノ劣化、印字ノ消滅、及

紙ノ及ホシ、異状

云々ノ異状

云々ノ異状

云々ノ異状

第一銀行本浦支店計帳簿の状況

昭和六年三月三十一日現在

本行の元金 七、一〇〇、〇〇〇 圓

仕入及び仕立の戻金

引当金

銀行金 七、一、九〇、〇〇〇 圓

現金 九、五九、九二〇 圓

現預金 六、七、三〇、五〇〇 圓

内訳 一日券 二九、五六〇 圓

十日券 一、七、四、五〇〇 圓

振替準備金 六、七、三〇、五〇〇 圓

内訳 正貨 一、三〇〇 圓

在外公債 六、六、〇〇、五〇〇 圓

一、銀行の通入の仕入及び支出

前仕入無状ナシ

二、銀行の仕入の仕入及び支出

前仕入無状ナシ

三、銀行の仕入の仕入及び支出の仕入及び支出

夏島及びホシエの仕入

前仕入無状ナシ

手紙  
書角

明治三十一年十二月廿二日

公第一九四号

受第一三七一五號

第一銀行 釜山支店 釜山 無記名  
式一貫拂 銀行 券 拾 圓

本年三月一日より今年五月二日之間  
第一銀行 釜山支店 無記名 式一貫拂 銀  
行 券 拾 圓 現況 依然 別紙 函 及  
報告 多 条 可 生 互 換 斗 相 成 度  
此 段 申 進 奉 敬 具 上

在釜山

領事館事務代理

領事官補 今井 五郎

在朝鮮國釜山日本領事館

加藤 大 臣 男 爵 小 村 大 吉 郎 殿



外務

明治三十一年  
十二月廿二日

3-1197

0348



二月廿二日發 魯通商局

受第一二七五號  
明治三十五年三月五日

一九四号

第一銀行 釜山支店 於三月五日  
式一覽 拂銀行 爲 爲 爲 之 関  
元 報告 件

三月一日より 今午五日 三月 同 飛 也

銀行 釜山支店 無 罷 名 式 一 覽 拂 銀  
行 爲 爲 爲 現 況 依 例 別 紙 函 及  
考 査 条 可 在 釜 山 斗 相 成 度

政 申 進 呈 敬 具 上

明治三十五年 十二月 十五日

在 釜 山

領 事 館 領 事 務 代 理

領 事 官 補 今 井 五 郎

在 朝 鮮 國 釜 山 日 本 領 事 館



務 大 臣 男 爵 小 村 孝 吉 郎 殿

本 領 事 館 爲 釜 山 支 店 於 三 月 五 日  
以 及 了 展 示 爲 旨  
世 三 年 三 月 五 日  
大 臣 官 署 領 事 官  
外 務 省 通 商 司 官

3-1197

0349

二月廿二日發  
郵頭馬場

受第一六七五號

第一銀行  
式一覽報

二月廿二日發

行年支底血

可後

明治三十三年十二月廿六日

在釜山

領事館事務代理

領事官補 今井 君

在朝鮮國釜山日本領事館



務大臣男爵小村来吉即殿

運 郵 第七四三號  
明治三十三年十二月廿六日

明治三十三年十二月廿六日

外務省  
通商局

本信爲御參考供貴覽候間  
御用濟御返却相成度候也  
明治三十三年十二月廿六日  
外務省通商局

3-1197

0350

明治三十二年 在韓國第一銀行金支店  
十二月十五日 銀行券景況報告

一本店より元受高

五〇四三三〇〇〇〇四

一他支店より出張所へ回送高

老三〇〇〇〇

一他支店より出張所より受取高

〇

一發行高

五九九、九六三

一還収高

老五三〇、九六

一現流通高

老四六、八六七

内老田券

五三〇、四四二

五田券

老五五、四四五

格田券

〇

右に對する準備金

一正債

五、五〇〇

在朝鮮國釜山日本領事館

一日本銀行兌換券

老〇四、五〇〇

備考

附記事項よりハ前回報表後特ニ記述

スヤキリナシ

子  
受  
印  
日

明治廿六年一月廿二日

通商局

受第九五八

理  
財  
部  
印  
五  
九  
九  
號  
乙  
四  
百  
接  
受

乙卯八月

第一銀行金支店ニ於テ無記名  
式一覽見解銀行券發行ノ旨  
ニ報失ノ件

本年一月一日ヨリ今午五日ニ至ル間ニ於テ  
第一銀行金支店無記名式一覽見解銀  
行券發行ノ現況依例別紙ノ通  
及報告書ヲ呈付然レ雖取計相  
成度此段申進矣敬具

明治三十一年一月十六日

在釜山

領事館事務代理

領事官補 今井君

在朝鮮國釜山日本領事館

三十二年二月廿三日記録

外務大臣男爵少將壽吉郎殿

外務省通

廿六年一月

大  
本  
館  
印

明治三十一年一月十四日  
理  
五十九號乙  
接

第九五八

第一覽見辨 銀行券發行  
式一覽見辨 銀行券發行  
之報告、件

月一日より今年五月三十一日迄の間に於て

行、金出店無記名一覽見辨銀

發行、現況依例別紙通

告至条可然 總 取計 相

此段申進美級具、

在金山

領事館事務代理

領事官補 今井 君

在朝鮮國釜山日本領事館

大臣男爵少將壽吉郎殿

本領事館事務代理  
及  
外務省通商司  
廿六年一月十八日  
本領事官補 今井 君

廿二日 通商局

号

第一銀行

式一覽見地

ニ報失

月一日

金出支店

發行ノ相

告ニ去条下

此段申

明治三十七年一月十六日

在金山

領事館事務代理

領事官補

今井 君



在朝鮮國金山日本領事館

大臣男爵少将壽吉郎殿

理 五九號乙  
財 五九號乙  
接 受

本信爲御參考供貴覽候間  
御用濟御返却相成度候也  
明治三十七年一月十六日

外務省通商局



外務省  
通商局

大元之...

大藏省  
第六三三號  
明治三十七年一月十六日

3-1197

0354

明治三十五年 在韓國第一銀行釜山支店  
一月十五日 銀行差景況報告

一本店より元受高 冬八〇、〇〇〇円

一他支店より出張所へ送高 〇

一他支店へ出張所より受入高 〇

一發行高 四一六、七九七

一還收高 貳〇〇、〇〇〇

一現流通高 貳〇〇、〇〇〇

一内一円券 五七、七五八

一五円券 七〇、八〇五

一十円券 七九、五〇〇

一在朝鮮國金日本領事館 四、五〇〇

一正貨 〇

一日本銀行兌換券 老老五、五〇〇

一備考

還收高ノ増加セシハ当地十八銀行支店ヨリ日本  
へ送金ノ爲メ貳萬五千円ノ引替アリタルコト  
準備金ノ前回ニ比シ減少セシ理由ハ前回ニ  
於テ、年末ニ豫メト銀行ノ手許有金  
ノ餘裕アリシトシテ、一時準備金額ヲ増  
加セシモノシテ、當期ニ於テ、之ヲ銀行内規、  
普通通準備金額ニ復セシナリ  
附記事項トシテ他ニ特記スルキコトナシ

西多海月  
北月  
申  
申

在朝京銀本領事館

明治六年三月十七日  
公信第一八〇號

受取一三三七

一第一領事署呈送狀告 自三月十日同日七口分  
大分領事署へ宛てて送付し、其の旨を以て

申上り申付

在案件

領事 三哲久末



外務大臣 野村 浩平

三十六年三月十七日

理銀第六五一號  
財七軍一月廿八日

外務省

其六年二月廿三日

本館  
外務省

3-1197

0356





第一八〇號

銀り券呈出状告

成りし年及也

なりおき

五系件

欲書

お取上り男券小

六年三月十七日

理銀第 一五 一 號  
財七 年 一 月 廿 八 日 接 受



受取 一 三 七 號

大藏省  
第四一四一  
号  
同文書課 接受

外務省通商局

外務省通商局

本信爲御參考供貴覽候間  
御用濟御返却相成度候也  
明治廿五年一月三十日

外務省通商局

外務省通商局

外務省通商局

自明治三十五年十二月十四日至十二月廿七日在東京第一銀行出張所銀行券景況報告

一本店ヨリ元受高 金五万也 但於四券

一他ノ支店又ハ出張所へ回送高 無し

一他ノ支店又ハ出張所ヨリ受人高 無し

一發行高 金拾万九千九百八拾八也

一還收高 金拾万六千九百九拾八也

現流通高 金九万五千八百六拾八也

内一圓券 金五万四千五百八拾八也

五圓券 金五万四千九百九拾八也

十圓券 金貳万六千九百九拾八也

右ニ對スル準備金

一金九万五千八百六拾八也

内 正貨 金七万貳千也

在韓國京城日本領事館

日本銀行兌換券 金八万九千八百六拾八也

一銀行券流通ノ便否及其範圍

本月廿日ヨリ拾日券ヲ發行セハ本券ハ金地金買収上他ノ二券ハ比レ最

多ク使用セラレ隨テ流通ニ亦ク最多額ヲ見ル至ハナシハレ

一銀行券ノ正貨ト引換ノ景況 引換ノ求ム者無し

一銀行券發行以來假貨幣市場ニ及キシ効果及貿易上ニ及キシ影響

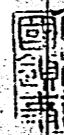
前回報告ト異動無し

右ノ報告也

明治三十五年十二月廿九日

在京城

領事 三増久米 吉



新七、  
送分、  
慶金濟

明治三十二年二月廿九日

善通通商

印

印

第二

受第一三三九號

第一銀行代表出展計三枚ヲ發行ノ無記名式  
一覽掛限リ券ニ至元報告

明治三十二年五月二十一日  
三枚ノ金記名式一覽掛限リ券ヲ發行シ、早晩到リ、  
早急に換金シ、換金後、換金ノ旨、早急に報告ス、  
別紙二通、お返し、お返し、お返し、お返し、お返し、  
明治三十二年六月十日

在東浦新事若松史三郎



外務大臣府小村壽太郎殿

三、六、一、四、二、日、記、録、簿、

在外公館

3-1197

0360

其銀行の準備金及び貸付金

老元金 老五五、〇〇〇圓

他支店に生付けた金

老四、〇〇〇圓

老〇、〇〇〇圓

老〇、七五五圓

老〇、五五〇圓

老〇、〇〇〇圓

老〇、〇〇〇圓

在外公館

銀行の準備金、貸付金及び範囲

右の範囲を擴張し、収入利益を以て、

右の範囲を擴張し、収入利益を以て、

右の範囲を擴張し、収入利益を以て、

右の範囲を擴張し、収入利益を以て、

右の範囲を擴張し、収入利益を以て、

右の範囲を擴張し、収入利益を以て、

右の範囲を擴張し、収入利益を以て、

右の範囲を擴張し、収入利益を以て、

右の範囲を擴張し、収入利益を以て、

右の範囲を擴張し、収入利益を以て、

牛赤丸  
物由

在朝鮮京城日本領事館

明治廿六年一月廿二日接獲

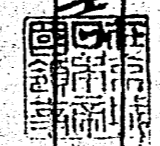
公信第七號

一三九〇

第一銀行奉景況報告 自明治廿五年十二月廿七日(即西一月廿一日)迄一月十日

在京城

領事 三橋久木



公助大下男青小松素大下城

二十六年一月廿二日接獲

本信閱覽  
外務省通達  
大城

3-1197

0362

第六年二月廿一日接獲

第七號

銀行券景况報告

自明治廿五年二月廿七日(即二月廿一日)

以来の経過一系を以て報告す

明治廿五年二月十日

在東京

信本 三谷久本 上

大藏省理財局

外務省通商局

二月廿日記録

三九〇

目録

本信閱覽令三付及

此返候也

明治廿五年二月十日

大藏省理財局

外務省通商局

理財局

明治廿五年二月十日

3-1197

0363

新報六年一月廿一日接發

第七號

銀行券景况報告

自明治廿五年十二月廿七日(即西曆一九〇二年一月十日)起

外債一由(即西曆)起

或云々云々

在東京

頃幸

之増々

白助大下男青小村大下

十二月廿一日接發

田島

一三九〇

明治廿五年十二月廿七日

外務省通商局

御用濟御返却相成度候也

外務省通商局

本信爲御參考供貴覽候間  
御用濟御返却相成度候也  
明治廿五年十二月三日  
外務省通商局

外務省通商局

御用濟御返却相成度候也



自明治三十五年十二月廿七日至十二月廿一日在京城第二銀行銀行券景況報告

一本店ヨリ元受高 無

一他ノ支店又ハ出張所へ回送高

一他ノ支店又ハ出張所ヨリ受入高

一發行高 金四万五千七百六拾五圓也

一還收高 金四万八千七百五拾五圓也

現流通高 金九万四千四百八拾圓也

内一圓券 金壹万五千五百貳拾五圓也

五圓券 金四万五千八百拾五圓也

十圓券 金貳万九千五百四拾圓也

右ニ對スル準備金

一金五万九千四百八拾圓也

内 正貨 金壹万貳千圓也

在韓國京城日本領事館

日本銀行兌換券 金壹万九千四百八拾圓也

一銀行券流通ノ便否及其範圍 前回報告ト異動ナシ

一銀行券ト正貨ト引換ノ景況 引換ノ求ムル者ナシ

一銀行券發行以來一般貨幣市場ノ及テリシ効果及貿易上ノ及テリシ影響

前回報告ト異動ナレ

右ノ報告ニ至也

明治三十六年一月七日

在京城

領事 三増久米



未定

廿月

在朝鮮京城日本領事館

明治卅六年一月卅一日發 官通馬

公信第九號

一三九一

一第一報行券景况報告

自明治卅六年一月卅一日

右分送一由及世達一系ふれはれ計支多し

以は三十二日一

在京城

候事之増久末吉



外務省通商

二十六年一月卅一日記

本信問曉済行此成  
送三候也  
明治三十二年二  
外務省通商  
大藏

3-1197

0366

年二月廿一日發 菅通商局 杉村

三九一

銀行券呈況報告 自明治三十六年一月一日至二月十日  
法一由及世達一系ふ此ゆ計表事  
三三二子一月事一

在系株 依事之増久末吉

秋七月男寺小松去大付後

二月廿日記録

本信閱覽済付共段及市  
送三度候也  
明治三十六年二月廿日  
大藏省理財局  
外務省通商局  
菅通商局



3-1197

0367

年一月卅一日發 官通商局  
第九號

一三九一

銀行券呈況報告 自明治三十年一月十日  
迄一月及世達一年の比の計表を附  
し

在東京

頃事之極久

大正二年一月廿一日

御覽  
御覽  
御覽

二月廿日記簿議案

本信爲御參考供貴覽候間  
御用濟御返却相成度候也  
明治三十年二月三日

外務省通商局

第九四  
無  
大

大正二年一月廿一日

自明治三十六年一月一日至一月十日在京城第二銀行出張所銀行券景況報告

一本店ヨリ元受高

無し

一他ノ支店又ハ出張所へ回送高

一他ノ支店又ハ出張所ヨリ受入高

一發行高

金於壹万九千九百九拾壹圓也

一還收高

金於万八千七百七拾圓也

現流通高

金於万貳千壹百〇拾圓也

内一圓券

金於万四千六百六拾壹圓也

五圓券

金於万八千五百拾圓也

十圓券

金於万九千六百拾圓也

右ニ對スル準備金

一金於万貳千壹百〇拾圓也

内 正貨 金於万貳千貳拾圓也

在韓國京城日本領事館

日本銀行兌換券

金於九千壹百〇拾圓也

一銀行券流通ノ便否及其範圍

前回報告ト異動無し

一銀行券ト正貨ト引換ノ景況

引換ヲ求ムル者無し

一銀行券發行以來一般貨幣市場、及ホレト効果及貿易上、及ホレタル影響

前回報告ト異動無し

右及報告云也

明治三十六年一月十三日

在京城

領事 三増久米 吉



明治三十六年二月廿九日

鎮公第 四号  
第一銀行各記名式一覽松券三葉  
報告、件

客年十月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル第一銀行  
一圓五圓并ニ拾圓券等ノ發行高ニ  
別紙ノ通リ報告有之矣ニ付検査致矣  
離手許有高一圓券叁百拾六圓五圓券  
四百五拾圓拾圓券八千四百八拾圓等ノ現  
金ハ出納簿ノ高ニ符合シ出納上相違  
無之矣ニ付此段及申報ニ致具

明治三十六年一月九日

在鎮南浦  
在朝鮮國鎮南浦  
日本領事館

領事 中山嘉吉  
外務大臣男齋小村壽太郎殿

追テ第一銀行各記名式一覽松券  
發行已来ノ状況報告書  
別紙ノ通リ添付申閱覽ニ供ス  
也

本信關曉濟  
送戻候也  
明治三十六年  
大藏  
外務省通

四号  
一銀行存記名式一覽松券三案元  
告件

十月一日至十二月三十一日第一銀行  
圖并拾圖券等、發行高、案  
通、報告有之、付換查致、天  
許有高、圖券、叁百拾、圖、五、圖券  
拾圖拾圖券、八千四百八拾圖等、現  
納簿、高、符、合、出納上相違  
、付、改、及、申、報、具、

在鎮南浦  
治三十六年一月九日

領事 中山嘉吉  
小村壽太郎  
國領事

追、第一銀行存記名式一覽松券  
發行已來、狀況報告書、  
別紙、通、添、付、比、閱、覽、供、  
也

本信關覽、濟、安、改、及、部  
送、候、也  
明治三十二年一月九日  
大藏省理財司  
外務省通商局  
印

四号  
一銀行存記各式一覽松券三葉元  
告一件

十月一日...十二月三十一日...  
圖并三拾圖券等...  
許有高...  
納簿...  
付此段及申報...  
敬具

在鎮南浦

領事 中山嘉吉  
小村壽太郎

追テ第一銀行存記各式一覽松券  
發行已来状況報告書  
別紙...添付...  
也

本信爲御參考供貴覽候間  
御用濟御返却相成度候也  
明治三十二年三月三日  
外務省通商  
外務省  
大倉省理財司



銀行券發行高報告(寫)

一壹圓券叁萬六千圓 行支店より夏入高

内叁萬五千六百八拾圓 拂渡高

二叁百拾六圓 手許有高

但明治三十五年六月十九日ヨリ  
全 年十月三十一日ヨリ

一五圓券拾萬二千圓 行支店より夏入高

内拾萬五千五百拾圓 拂渡高

二四百五拾圓 手許有高

但明治三十五年八月二十日ヨリ  
全 年十月三十一日ヨリ

一拾圓券貳萬圓 行支店より夏入高

内壹萬五千貳拾圓 拂渡高

二八千四百八拾圓 手許有高

但明治三十五年十二月二十日ヨリ  
全 年十月三十一日ヨリ

在朝鮮國鎮南浦 日本領事館

右面、以上各書

明治三十五年十月三十一日

株式会社第一銀行鎮南浦臨時出張所

主任 麻生 茂

鎮南浦

日本領事館

印

第一銀行各記名式(覽)松券三券の状況  
報告書(自十月一日)

一 南北附近の流通の便否

十二月二十五日に至り更に格別券の續出及セシガ  
恰も好し米穀、輸送最盛ナル冬季に際  
ナレガ故に商家何れも多額の資金を留保  
ヒ相互の取扱上競争ヲテ大に歓迎シ貿易  
上ニ於テハ專ら格別券及五圓券ヲ又雜  
貨商間ニ於テハ主として一圓券ヲ便利ト  
ナセリ然レシノ前季ニ報告セシ商國外部ガ  
羨セシ五圓券ニ對スル通引禁止的ノ訓  
令ニ準シ未ダ解禁ノ運ニ至ラズト雖モ  
カ爲メ一切何等ノ障害ヲ被ル事モ存シ被  
我共大小ノ取引上三種トモ最モ便益ヲ  
與ヘマアリ

在朝鮮國鎮南浦

日本領事館

一 其範圍

鎮南浦、平壤、黃海道の一部

一 証券發行已來の取債率市場ニ及ビテ其効果

市場殆ど全券ヲ以テ滿サレテ觀アリト雖

未ダ其流通面高ハ銀券ニ對比スル能ハズ

一 貿易上ニ及ビタル影響

近來日本銀行兌換券拂戻ノ折柄通商  
勅令ヲ以テ韓國通商信託白銅貨ニ準  
ズル取締嚴重ナル故自然夫等ノ影響  
リ貿易上本券ノ用路シ多カラシメタリ

受領書  
物内

在朝驛京城日領事館

明治廿六年二月五日

普通郵便局

公信第一一號

受第一九六二號

一、本館より奉呈民校共 自之より一月より一月の間に  
大分城へ由り此迄迄へ来たれり此迄迄へ  
あゝまゝに

明治廿六年一月二十四日

立書

依事ニ増久本



外務大臣官署に於て

三十六年二月廿三日記録簿

本館  
明治廿六年  
二月廿三日  
外務大臣官署

3-1197

0375

大正二年五月五日

第... 通...

受第一九六二號

銀行者目録に於て 自之より月...  
...  
...  
...

大正二年一月二十日

立書

依事 三増久本



外務大臣田中...

大正二年五月廿三日

奉信 官見済 三付及  
...  
...  
...  
外務省通商局  
大藏省理  
理

3-1197

0376

大正二年一月五日

管頭局

受第一九六二號

銀行券目録

お城一

お城一

お城一

左

お城一

Handwritten text in a rectangular box, possibly a list or ledger.

六年二月廿三日記録課

一月二十日

本信爲御参考供貴覽候間  
御用濟御返却相成度候也  
明治三十二年二月十日

外務省通商局

通商局

大蔵省理財司  
申

自明治三十六年一月十二日至一月二十日在<sup>京城第二銀行</sup>銀行券景况報告

一本店ヨリ元受高

無

一他ノ支店又ハ出張所へ回送高

一他ノ支店又ハ出張所ヨリ受入高

一發行高

金於七千七百五十圓、基也

一還收高

金於七千七百六十圓、基也

現流通高

金於七千七百五十圓、基也

内一圓券

金於七千四百圓、基也

五圓券

金於七千四百九十圓、基也

十圓券

金於七千六百圓、基也

右ニ對スル準備金

一金九千七百五十圓、基也

内 正貨 金七千四百圓、基也

在韓國京城日本領事館

日本銀行兌換券

金八千五百圓、基也

一銀行券流通ノ便否及其範圍

前回報告ト異動ナレ

一銀行券ト正貨トノ換、景况

引換ノ求ムル者ナレ

一銀行券發行ノ未一般貨幣市場、及之ニ効果及空留止、及之ニ影響

右前回報告ト異動ナレ

右及報告也

明治三十六年一月廿二日

在京城

領事 三增久米





受第一七二九號

銀行差報先件

自三月十日三書問... 山支店無記名式一覽見拂  
行ノ現況依例別紙通  
条可然係函封相  
申進号致目大

二十六年二月三日

理銀第一二七九  
附廿二年二月三日

在金山

領事館事務代理  
領事官補 今井 忠



在朝鮮國金山日本領事館

在朝鮮國金山日本領事館

9

在信... 見海... 及  
廿二年三月十八日  
大藏省理  
外務省通商司





官通商檢校

受第一七二九號

銀行 善報 庚子年

山支店

行ノ項

乗可

甲進

二十六年

在在

領事官補 今井 忠

小村 壽太郎 殿

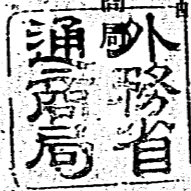
在朝鮮國釜山日本領事館



9

本信爲御參考供貴覽候間  
御用濟御返却相成度候也  
明治三十一年二月

外務省通商 外務省 通商局



3-1197

0381

明治三十五年  
一月三十一日 在韓國華商銀行 奉天支店 銀行  
券目 票況 報告

一本店 元慶島 三六〇〇〇〇円

一他支店 奉天 遼陽 所屬 四支店 〇

一他支店 奉天 遼陽 所屬 支店 〇

一發行高 四三八・五二四

一還付高 九九七・四三〇

現流通高 四四七・四八三

一田房 奉天 〇 奉天 奉天

一田房 奉天 七・五三〇

一田房 奉天 九九八奉天

右に對し準備金

正債 奉天 五〇〇

在朝鮮國金山日本領事館

日本銀行 完結 奉天 奉天 六・五〇〇

備考

附錄事項 卜ニテ 特報 スマキトナシ